

住みよいたけし

2019年2月16日発行

事務所 武石地域自治センター内
TEL:0268-85-3667
<http://www2.marukotv.jp/~s-takeshi>
印刷 中澤印刷株式会社



学びあおう!

たけし共育フォーラム2019開催

昨年に続き2回目となるフォーラムが、1月19日(土)午後、武石公民館コミュニティーホールを会場に開催されました。

フォーラムは、本会子育て・教育文化部会（小林慎一部会長）が、今年「武石に生まれ、地域に育てられたことに誇りを持ち、力強く生きていくことを願って」をテーマに開催しました。

地域の皆さんに、武石の子ども達の活動を知っていただき、共に地域の子どもを守り育てる一翼を担っていただきたいとの願いが込められています。

会場には、子どもから大人まで約60名の幅

広い年代が参加してカルタ取りに興じ、真剣に意見交換して会を盛り上げました。

フォーラムの最後に小林部会長は、親と子の関係、児童生徒の成長、地域での子育ての必要性、地域の伝統文化の再認識等の観点から総括し、「とても良い意見発表と、話し合いの場が持てた。今後も、地域の皆さんの力を借りながら、進めていきたい」とまとめました。

(詳細は2ページ)



武石に生まれ、地域に育てられたことに誇りを持ち、 力強く生きていくことを願って！

共育フォーラムは、「ふるさとカルタで遊ぼう」「話題提供」「テーマに即した分散会」の3部構成により進められました。

1 ふるさとカルタ

ふるさとカルタでは、昭和63年に武石小学校で作られたふるさとカルタを使って、参加者全員でカルタ取りをしました。2回戦行われ、それぞれ住みよい武石をつくる会児玉卓文会長と、児玉裕二副会長が詠み手となり、カルタにまつわる地域の歴史や伝説等を織り込み詠み進めました。

参加した子ども達はもちろんのこと、大人も童心に返り、並んだカルタを、獲物を狙うハンターのように一心に見つめ、飛びつく姿が印象的でした。30枚以上を取った小学2年生児童2人と、保育園の年中園児1人のいずれも女の子3人がカルタ会チャンピオンになりました。このカルタ会を通して武石地域の歴史や文化が、今後も語り継がれていく良い機会となることが期待されます。

2 話題提供と分散会

次の話題提供のコーナーでは、4つの発表があり、その後分散会に分かれて内容をより深める活発な意見交換が行われました。

「武石わくわく通学合宿」の発表・分散会では、運営に協力した長野大学の学生が報告しました。



3泊4日の通学合宿には、4～6年児童22名が参加。通学合宿のテーマを「感謝」として実施し、子ども達は、親との手紙

の交換による感動、感謝の気持ちや、絆を深めることができ、協力すること、我慢すること等多くを学べたこと、長大学生自身も運営に主体的にかかわることで自分たちが成長することができたことが報告され、「交流」を密にこれからも継続してもいきたいと語ってくれました。

「地域未来プロジェクト」では、依田窪南部



中学校の2年生7名が、地域発見の旅として職業体験をした報告がありました。

雲溪荘で体験した生徒からは、接客業では「笑顔・あいさつ・思いやり」が重要であることを、せんぜい畑の会の体験生徒は、「礼儀・忍耐・自ら行動」の大切さをそれぞれ学ぶことができた。改めて地域の良さを知り、この地域が好きになったと話してくれました。3年生になると、地域未来プロジェクトが始まり活動を通して地域の観光、農林業、伝統文化、福祉体験等について自分の考えをまとめ発表する機会をもつとのこと。将来武石で買い物できる場所やテーマパークが欲しい、武石を将来帰ってきたい場所にしていきたいなど、地域づくりの希望が出ました。

「ふれんず武石児童館」からは、児童館に集う児童8名により一年間の児童館活動の様子を、合唱やオカリナの演奏により発表が行われました。

児童館館長は、活動により、子供たちが自分た

ちの発表ができるように成長してきている。地域で児童館の認知度を高め、施設運営に保護者や地域の人たちも関わってもらい、どんどん児童館に立ち寄ってほしいと語っていました。



「たけし歴史さんぼみち」の発表では、昨年8月に開催されたのイベントの報告が、主催した住みよい武石をつくる会子育て・教育文化部会からありました。沖・鳥屋地区を中心に44名が参加したこのイベントでは、武石に住んでいても武石の歴史や文化財などを知らない人が多いことから、今後も武石八景など他の地域について継続していきたいと、報告がありました。



武石を盛り上げる
人やグループ紹介

武石の人 団体

武石猟友会

猟友会 というと、狩猟を趣味として楽しむ人たちの集まりというイメージでしたが、近年では有害鳥獣から農作物や森林を守る為にはなくてはならない団体となっており、テレビ、新聞などでも猟友会の活動がたびたび報じられています。

武石地域では、現在 17人が武石猟友会に所属、平成 30 年度の有害鳥獣の捕獲頭数は 619 頭（1月 10 日現在、シカ及びイノシシ）にもなります。ここ数年は捕獲頭数が徐々に減少、捕獲しにくい状況（いわゆるスレジカの発生など）が起きています。また、



捕獲されたシカ

生息地も山奥や美ヶ原台上の方に移っているとのことで、農作物の被害は減っているものの森林被害（木の皮を剥がすなど）が増えているとのことです。

さらに、サルが生息地の拡大やトンコレラのイノシシ感染など、新たな脅威が懸念されており、「今後も有害鳥獣への対応は続けなければならない」と下村さんは話します。

しかし、昭和 50 年頃には約 120 人いた猟友会の会員は、現在 17人までに減少、会員の高齢化が進んでいます。「このままでは、いずれ、地域で有害鳥獣に対して誰も対処ができない事態になってしまう」と下村さんは不安を隠せません。「若い人達が一人でも二人でも入ってくれば」と次世代への期待を寄せていました。

また、捕獲した有害鳥獣の埋設場所の確保や、埋



武石猟友会
会長 下村 学さん



めて捨てるしかない現状からジビエでの有効活用の促進などが課題となっており、地域での協力や行政、民間の事業所、飲食店などが連携した対応策が必要となっています。

11月 15 日から翌 2 月 15 日までが狩猟期間ですが、2月 16 日からは有害鳥獣の駆除期間が始まります。「今年は雪が少ないので山に入る人が多いと思いますが、目立つ衣服で作業をお願いします。また、「わな」による捕獲も行っており、「わな」の近くには注意喚起のための看板や標識が設置されていますので、危険ですから近づかないようにお願いします」とのことです。



捕獲されたイノシシ

狩猟に興味のある方、猟友会の活動や狩猟免許の取り方などについて詳しく知りたい方は、下記まで連絡をお願いします。

◆武石猟友会 下村さん
電話 090-3143-1072





住みよい武石をつくる会が 2018年に行った 主な活動を写真で振り返ります

エリアトーク開局



1月

地域で要望が多かった無線による地域情報システムを構築、会が主体となって運営を開始しました。



1月

たけし共育フォーラムを開催

地域が協力して子育てについて考える集いを開催しました。



4月

住みよい武石をつくる会 定期総会

事業報告、決算、予算等が承認されました。

たけしけんこう ウォーキング



6月

11月

小沢根美しの国周辺で6月、11月の2回開催しました。

しげの里づくりの会視察



6月

東御市滋野地区で、旧JA施設を改装し住民の交流する場づくりをしている「しげの里づくりの会」を視察しました。

道路環境クリーン作戦



7月

交通安全と、地域の環境美化を目的に草木の刈払いを行いました。

お寺でヨガ

7月

妙見寺を会場に、気軽にヨガを楽しんでほしいと実施されました。

認知症講演会を開催

7月

大きな福祉課題である認知症について学びました。

8月

スイカ割り大会

夏祭りに合わせスイカ割りを実施しました。

8月

たけしカルタ歴史さんぽみち

武石ふるさとカルタに詠まれたか所を巡り地域の再発見をしました。

9月

わくわく通学合宿

児玉会長が実行委員長になるなど、主体的に運営協力しました。

サテライト市長室で市長と意見交換

9月

自治連、地域協議会とともに行政課題について市長と意見交換しました。

3月

12月

権兵衛川浚渫

自然生活環境部会の申し出により権兵衛川の葦が取り除かれました。

武石地域の農業を考える会

昨年12月9日(日)よだくぼ南部地区農業支援センター武石地区推進委員会の主催による「武石地域の農業を考える会」が武石公民館で開催されました。

最初に井出守男委員長から、「農業情勢が厳しい中で今後の農業の方向性を見出せば」と挨拶の後、余里の太平将人さん、沖の中嶋和夫さん、市之瀬の柿畠勲さん、沖の加藤松子さんによるパネルディスカッションが行われました。

この中では、農業は自分の生活を豊かにするとともに仲間づくりでもあり、地産地消、地域の活性化に貢献をしている、農業は楽しいとの認識や定年後に農業を始めることの呼びかけや、農業を始める人へ農地や中古ハウスの斡旋などを行う仕組みづくりの必要性が語られました。

また農地や水路の維持、後継者の育成、農村環境を守ることなどの課題や、さらに農業経営の株式会社化への検討など様々な課題が提起され、農



業を改めて認識する場となりました。発表者からは、それぞれ形態や立場が違っていても農業を積極的に位置付けている姿勢が示されました。

その後、女優浜美枝さんの講演があり、日本の農村にあった美しいものが失われていく現状があるが若い人が農業に魅力を感じていることもある。生命は自然の営みであり、人は農により生かされていることを実感すべき。食は命に直結しており、地産地消というのは生活の基本であると力説されていました。

堀之内どんど焼き



1月13日の朝、堀之内十二宮広場で恒例のどんど焼きが行われました。人々が次々と集まり、しめ縄、松飾、だるまなどが焚かれ、大きな炎が立ち上がりました。炎が収まると、柳の枝につけた色とりどりのまゆ玉を焚火にかざし、焼きあがったまゆ玉を家族やご近所さんと食べて一年の健康を願いました。どんど焼きは、堀之内分館の年間行事の一つで、お酒やジュース、ミカン、お菓子もふるまわれます。

どんど焼きは、お正月様を送るものだともいわれています(武石村誌)。伝統行事をこれからも繋げていきたいものです。

自治会連合会新役員が決まりました

1月10日(木)、平成31年度の武石地域自治会連合会が開催され、新年度の武石地域自治会連合会長に権現自治会長の荻原和雄さん、副会長に市之瀬自治会長の掛川晴一さんが選出されました。副会長は、武石地域社会福祉協議会役員を兼ねます。

荻原 和雄 (権現自治会) 新武石自治連会長就任あいさつ

1月10日(木)に、武石地域自治会連合会総会に於いて平成31年の連合会長に選出されました。不安な面等多々感じておりますが、歴代の正副会長また行政機関等とも相談し、みずからも勉強して、微力ではありますが地元自治会発展の為努力してまいります。1年間よろしくお願い致します。

地域のイベント&お知らせ

●ともしびの里芸能祭

・日時 2月24日(日) 12時30分 武石公民館

●分館親善スポーツ大会

・日時 3月10日(日)
・武石体育館 ビーチバレーボール大会

●おさんぽギャラリー春 出展者等募集

・日時 4月28日(日)
ジェイエイひだまり武石周辺で開催されます
ブース出展者(30店舗 出展料1500円)と
紅白勝ち抜き歌合戦出場者(20名)を募集します。
・募集期限 3月31日
・問・申し込み先 武石風土つなぎ隊 柳沢さん
tel 090-5790-4508

